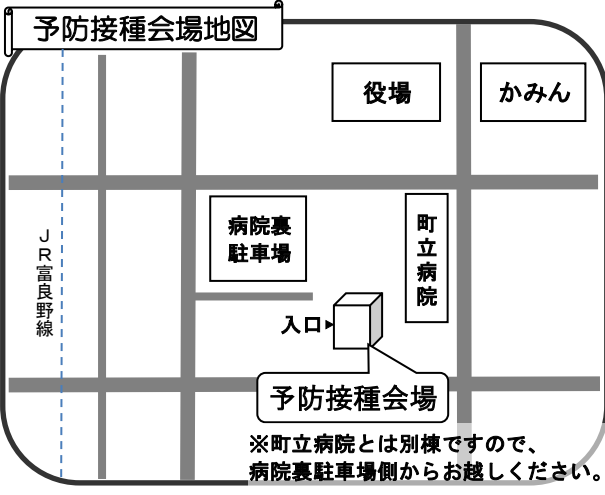


平成28年度 上富良野町の予防接種（平成28年4月～平成29年3月）

★定期接種★ 別途配布している『予防接種と子どもの健康』も併せてご覧ください。

問い合わせ：保健福祉課権能推進班(45-6987)

予防接種名		標準接種期間と対象年齢など	実施医療機関と予約及び接種方法	
			上富良野町立病院	その他の医療機関
不活化	ヒブ	接種開始が生後2～6か月…【初回】生後12か月未満に27～56日までの間隔で3回接種。 【追加】初回接種終了後、7～13か月までの間隔をあけ1回接種。 7～11か月…【初回】生後12か月未満に27～56日までの間隔で2回接種。 【追加】初回接種終了後、7～13か月までの間隔をあけ1回接種。 1～4歳…… 1回接種。 対象年齢…2か月～5歳未満	初回2・3回目は生後12か月を超えると接種できません。 追加接種は初回最後の接種から27日以上の間隔をあけて受けましょう。	富良野協会病院 【住所】富良野市住吉町1番30号 【電話】23-2181 【予約】毎日14時～16時 【接種】木曜日 13:30～15:00
不活化	小児肺炎球菌	接種開始が生後2～6か月…【初回】標準接種期間として生後12か月未満に27日以上の間隔で3回接種。 初回2・3回目は生後24か月を超えると接種できません。 また、初回2回目が生後12か月を超えた場合、初回3回目は接種できません。 【追加】初回接種終了後、60日以上間隔をあけ1歳～1歳3か月未満で1回接種。 7～11か月…【初回】標準接種期間として生後12か月未満に27日以上の間隔で2回接種。 初回2回目は生後24か月を超えると接種できません。追加接種を受けましょう。 【追加】初回接種終了後、60日以上間隔をあけ1歳を過ぎてから1回接種。 60日以上の間隔で2回接種。 1歳…… 1回接種。 対象年齢…2か月～5歳未満	追加接種を受けましょう。	いんやく小児科クリニック 【住所】富良野市弥生町6番30号 【電話】39-1177 【予約】接種日の午前中まで 【接種】水曜日 13:30～14:00 (その他の日程でも対応可)
不活化	四種混合(百日せき破傷風ジフテリア)ポリオ単独ポリオ	【1期初回】生後3～12か月に20～56日までの間隔で3回接種。 【1期追加】1期初回(3回)終了後、12～18か月の間隔をあけ1回接種。 対象年齢…生後3～90か月未満 ※三種混合及び単独ポリオワクチン未接種の方は、四種混合ワクチンを接種してください。 ※次のいずれかのワクチンを既に接種している方は、原則として単独の不活化ポリオワクチンを接種してください。 生ポリオワクチン1回以上、単独の不活化ポリオワクチン1回以上、三種混合ワクチン1回以上	【予約】接種当日、お子さんの体調を確かめて接種可能か判断のうえ、保健福祉課へお電話でお申し込みください。また、接種歴を確認するため、母子手帳をご用意ください。 受付時間 9:00～10:00 電話番号 45-6987 ※申し込み時間以外は受付できません。 ※申し込み後に都合が悪くなった場合は、必ずご連絡ください。 ※1日あたりの受付人数が決まっていますので、定員に達した場合は10時になる前に受付を終了することがあります。	【住所】富良野市栄町2丁目2番15号 【電話】45-2013 【その他】1歳以上の方が接種できます。
生	BCG	生後5～8か月未満に1回接種。乳児結核の重症化を予防しましょう。 対象年齢…1歳未満	【接種】接種会場 町立病院予防接種会場 受付時間 ★1種類のワクチンを接種 13:00～13:20 ★複数のワクチンを同時接種 13:20～14:00 持ち物 母子手帳、予診票 ※予診票をお持ちでない方は、保健福祉課または予防接種会場でお渡します。 ※保護者以外が同伴する場合は必ず「委任状」を持参してください。 ※診察しやすい服装でお越しください。 ※13歳未満の方は保護者の同伴が必要です。13歳以上の方で保護者が同伴しない場合、事前に保護者の同意(予診票にある同意欄に記入)が必要となります。	小野沢整形外科 【住所】南町2丁目1054番地301 【電話】39-4177 【その他】小学生以上の方が接種できます。
生	水痘	1回目…標準接種期間として生後12～15か月に1回接種。 2回目…1回目接種後、6～12か月の間隔をあけ1回接種。 対象年齢…1～3歳未満 ※既に水痘に罹患した方や水痘ワクチンを規定の回数接種している方は対象外となります。	対象年齢内の接種は無料ですが、対象年齢をはずれると任意接種になり有料となりますので、ご注意ください。	卵アレルギーなどの特別な理由があり、小児科での接種が望ましいと医師が判断した場合のみ小児科での接種ができます。町で発行する書類が必要になりますので、事前に必ずお問い合わせください。
生	麻疹風しん混合	第1期…生後12～24か月未満で、麻疹及び風しんにかかったことがない子に1回接種。 第2期…5歳以上7歳未満の小学校に入る前の年度の子(幼稚園・保育所の年長児)に1回接種。 平成28年度は、平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの方が対象です。 ※麻疹または風しんのいずれか一方にかかってしまった場合も、予防接種を受けることができます。		
不活化	日本脳炎	【1期初回】…3～4歳未満に6～28日までの間隔で2回接種。 【1期追加】…1期初回(2回)終了後、6か月からおおむね1年の間隔をあけ4～5歳未満に1回接種。 対象年齢…生後6～90か月未満 【2期】9～10歳未満に1回接種。 対象年齢…9～13歳未満	特例措置として20歳未満の方は定期接種の対象となります。ただし、対象年齢内でも、優先的に接種できる対象者が決まっています。ご注意ください。	



接種スケジュールを立てましょう

◆次の予防接種までの接種間隔◆
不活化ワクチン⇒次の予防接種… 6日以上あけましょう
生ワクチン ⇒次の予防接種…27日以上あけましょう

		町立病院実施日(36回)							
		日	月	火	水	木	金	土	メモ
4月							1	2	
		3	4	5	6	7	8	9	
		10	11	12	13	14	15	16	
		17	18	19	20	21	22	23	
5月		24	25	26	27	28	29	30	
		1	2	3	4	5	6	7	
		8	9	10	11	12	13	14	
		15	16	17	18	19	20	21	
6月		22	23	24	25	26	27	28	
		29	30	31	1	2	3	4	
		5	6	7	8	9	10	11	
		12	13	14	15	16	17	18	
7月		19	20	21	22	23	24	25	
		26	27	28	29	30	1	2	
		3	4	5	6	7	8	9	
		10	11	12	13	14	15	16	
8月		17	18	19	20	21	22	23	
		24	25	26	27	28	29	30	
		31	1	2	3	4	5	6	
		7	8	9	10	11	12	13	
9月		14	15	16	17	18	19	20	
		21	22	23	24	25	26	27	
		28	29	30	31	1	2	3	
		4	5	6	7	8	9	10	
10月		11	12	13	14	15	16	17	
		18	19	20	21	22	23	24	
		25	26	27	28	29	30	1	
		2	3	4	5	6	7	8	
11月		9	10	11	12	13	14	15	
		16	17	18	19	20	21	22	
		23	24	25	26	27	28	29	
		30	31	1	2	3	4	5	
12月		6	7	8	9	10	11	12	
		13	14	15	16	17	18	19	
		20	21	22	23	24	25	26	
		27	28	29	30	1	2	3	
1月		4	5	6	7	8	9	10	
		11	12	13	14	15	16	17	
		18	19	20	21	22	23	24	
		25	26	27	28	29	30	31	
2月		1	2	3	4	5	6	7	
		8	9	10	11	12	13	14	
		15	16	17	18	19	20	21	
		22	23	24	25	26	27	28	
3月		29	30	31	1	2	3	4	
		5	6	7	8	9	10	11	
		12	13	14	15	16	17	18	
		19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31			

★任意接種★

町では小児の感染予防及び重症化予防のために、任意の予防接種費用の助成を行っています。
任意予防接種は、保護者が医師と相談のうえ接種を行う予防接種です。希望する方は実施医療機関に直接お申込みください。予診票については医療機関にあるものを使用してください。
町立病院でおたふくかぜワクチンを接種する場合は、定期接種と同じ接種日、予約及び接種方法で実施します。また、定期接種との同時接種も可能です。(■)

	予防接種名	助成対象年齢と接種間隔など	自己負担額	実施医療機関						実施医療機関以外の医療機関で接種する場合
				町立病院	渋江医院	小玉外科	小野沢整形外科	いんやく小児科	富良野協会病院	
生	ロタウイルスワクチン	ロタリックス(1価) 生後6週～24週までに4週間隔で2回接種。 ロタテック(5価) 生後6週～32週までに4週間隔で3回接種。	無料	/	/	/	/	●	●	接種の際医療機関で費用を支払ってください。接種終了後に必要書類をご持参のうえ、保健福祉課で償還払いの手続きを行ってください。 償還払いの申請は、接種日から1年以内となります。 【必要書類】領収書、接種済証または母子手帳、印鑑、振込口座名・番号
不活化	B型肝炎ワクチン	生後2か月から4週間隔で2回接種。 さらに1回目接種から20週以降かつ生後7か月～1歳未満に1回接種。		/	/	/	/	●	●	
生	おたふくかぜワクチン	1～6歳未満に1回接種。 (医療機関で2回接種を勧められることもあります、町の助成は1回のみです。)		■	●	/	/	●	●	
不活化	インフルエンザワクチン(実施期間H28.10.1～H29.1.31)	1～13歳未満に2回接種。 13歳以上高校3年生相当年齢に1回接種。		1,000円※1	●	●	●	●※2	●	

※1 2回接種の方は、2回目は無料で接種できます。
町民税非課税世帯、町民税所得割非課税世帯及び生活保護世帯の方は、無料で接種できますが、事前に保健福祉課での手続きが必要です。
※2 小野沢整形外科は中学生以上の方が接種できます。

予防接種の効果と副作用について、乳幼児健診の日程については裏面をご覧ください。

町立病院ですべての実施日で、ヒブ・小児肺炎球菌・四種混合・ポリオ・BCG・水痘・麻疹風しん混合・日本脳炎・おたふくかぜのワクチンが接種できます。

予防接種の効果と副反応について

予防接種は、保護者が接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り、接種が行われます。

すでに配布している「**予防接種と子どもの健康**」と、下記の事項をお読みいただき、**予防接種の効果や副反応並びに健康被害時の対応**について内容をよく理解しましょう。

★定期接種★

ワクチンの種類	病気の特徴など	予防接種の効果	副反応
ヒブ	・ヒブ感染症はインフルエンザ菌のうちb型が病原細菌となり、気管支炎、髄膜炎、肺炎などを起こす ・ヒブによる髄膜炎は年間400人が発症し、生後4か月～1歳までの乳児が過半数を占めている	・7種類に分類されるインフルエンザ菌のうち、重症例は主にb型のため、ワクチンとして使われている ・ワクチンは世界110か国以上で導入され、ヒブによる重症感染症は劇的に減少	・局反応が中心で発赤44.2%、腫脹(はれ)18.7%、硬結(しこり)17.8%、疼痛5.6% ・全身反応は発熱2.5%、不機嫌14.7%、食思不振8.7%など
小児用肺炎球菌	・肺炎球菌は、細菌による子どもの感染症の二大原因のひとつで、細菌性髄膜炎、肺炎などを起こす ・肺炎球菌による化膿性髄膜炎の致死率や後遺症例の頻度は、ヒブによる髄膜炎より高くなっている	・子どもの細菌性髄膜炎などを予防するようにつくられたのが、小児の肺炎球菌ワクチンである ・このワクチンを接種することで細菌性髄膜炎や菌血症を激減することが多くの国から報告されている	・接種局所の紅斑(68.1～74.4%)、腫脹(はれ)(47.2～57.1%) ・全身反応として主なもの発熱(37.5℃以上)で32.9～50.7%
四種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ 不活化ポリオ	【ジフテリア】 ・感染しても10%程度の人に症状が出るだけで、現在の患者発生率は年間0～1人程度 ・症状は高熱、のどの痛み、せき、嘔吐などで、偽膜と呼ばれる膜ができて窒息死することもある 【百日せき】 ・患者数は減少してはいるが、乳幼児が感染すると重症化することがある ・通常熱は出ないが、乳幼児はせきで呼吸困難になり、肺炎や脳炎などの合併症で命を落とすこともある 【破傷風】 ・土の中にいる菌が傷口からヒトの体内に入ることによって感染 ・菌が体内で増えると菌の出す毒素のために、筋肉の強直性けいれんを起こす 【ポリオ】 ・症状はほとんど出ないが、症状が出る場合、発熱、頭痛、嘔吐がみられる ・ウイルスが血液を介して脳・脊髄へ広がると麻痺を起こすこともある	【ジフテリア】 ・予防接種によりジフテリア患者は著明に減少している ・日本のジフテリア免疫は予防接種に依存しているため、今後も一定レベルの免疫の維持が必要 【百日せき】 ・予防接種していた者は、していなかった者に対し約90%以上の発症防止効果がある ・血清学的にもワクチン接種の効果が証明されている 【破傷風】 ・破傷風菌の出す毒素に対する、予防接種による免疫効果は明らか 【ポリオ】 ・予防接種の効果により、現在日本でのポリオウイルスによる麻痺患者の発生はなくなっている ・現在でもポリオの発生している国々があるため、予防接種による根絶とその状態の維持が必要	【四種(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)混合ワクチン】 ・注射部位の紅斑69.1%、注射部位の硬結52.1%、注射部位の腫脹(はれ)30.9%、発熱46.7% ・ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれんに関する注意が添付文書に記載 【不活化ポリオワクチン】 ・疼痛18.9%、紅斑77.0%、腫脹54.1%、発熱(37.5℃以上)33.8%、傾眠状態35.1%、易刺激性41.9% ・ショック、アナフィラキシー、けいれんに関する注意などが添付文書に記載
BCG	・毎年2万人を超える結核患者が発生している ・結核に対する抵抗力の弱い乳幼児がかかると、全身性の結核症や、結核性髄膜炎になることもある	・結核性髄膜炎など小児の重篤な結核の発病予防への効果は確実で、効果は10年～15年程度持続 ・接種局所が赤くなり、うみができることがあるが、これは抵抗力がついた証拠である	・ただれたり、大きく腫れたり、化膿してうみが出るようなときは医師に相談 ・お子さんが接種前に結核菌に感染している場合は、接種後に接種局所の発赤・腫脹及び化膿が見られ、2～4週間後に消炎、瘢痕化することがあるが、この場合は、接種を受けた医療機関を受診
水痘	・水痘-帯状疱疹ウイルスに初めて感染したときに見られる、最も感染力の強い感染症のひとつ ・主症状は発疹、発熱で、まれに脳炎や肺炎、肝機能の異常を伴うことがある	・予防接種により水痘患者は大幅に減少し、水痘に伴う緊急搬送例や入院例も激減している ・予防接種により重症の水痘をほぼ100%予防し、2回の接種により軽症の水痘も含め発症を予防できる	・健康小児には副反応はほとんど認められない ・時に発熱、発疹が見られ、まれに局所の発赤、腫脹(はれ)、硬結(しこり)がみられる
麻しん風しん 混合	【麻しん】 ・感染力が強く、予防接種を受けないと多くの人がかかる病気 ・発熱、発疹が主症状で、合併症としては、気管支炎、肺炎がある 【風しん】 ・発疹、発熱などが主症状で、合併症として、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されている	【麻しん】 ・予防接種の効果は非常に高く、接種を受けた者の約95%以上が免疫を獲得している 【風しん】 ・接種を受けた者の約95%以上に風しんH抗体の陽転がみられ、自然感染による発症を防ぐ	・発熱が、1期では約18.2%、2期では約6.6%、発疹が、1期では約4.7%、2期では約1.1% ・その他には、注射部位の発赤・腫脹(はれ)、硬結(しこり)などの局所反応 ・全身反応としてはじんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなど ・アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどが生じる可能性もある
日本脳炎	・ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染 ・高熱、意識障害などの症状を示し、死亡率は約20～40%、神経の後遺症を残す人が多い	・以前は小児・児童を中心に発生していたが、予防接種の普及などで減少 ・最近では予防接種を受けていない高齢者を中心に患者が発生	・37.5℃以上の発熱は0.6～2.7%程度、38.5℃以上の発熱でみると0.3～1.6%程度 ・接種部位の腫れなどの局所反応は0.7～2.2%程度

◎健康被害救済制度

ワクチンの種類によっては、極めてまれ(百万から数百万人に1人程度)に脳炎や神経障害などの重い副反応が生じることもあります。

このような場合に厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。

※接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けるとともに、保健福祉課健康推進班(45-6987)に連絡してください。

★任意接種★

ワクチンの種類	病気の特徴など	予防接種の効果	副反応
ロタウイルス	・ロタウイルスによる下痢症は、衛生状態にかかわらず発症 ・嘔吐・下痢に伴う脱水やけいれん、腎不全、脳炎・脳症などの合併症のため入院に至るケースがある	・ワクチン導入後、ロタウイルス感染症は劇的に減少 ・直接効果だけでなく集団免疫効果も認められている	・ぐったりする、顔色が悪い、繰り返し起きる嘔吐、血便、お腹の張りがみられた場合は、医療機関を受診 ・腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管障害や腸重積の既往のある乳児、重症複合型免疫不全を有する乳児への接種は避ける
B型肝炎	・感染は主にB型肝炎ウイルスを含む血液との直接接触によって生じる ・感染すると急性肝炎となる場合と、ウイルスが肝臓の中に潜み、年月を経て慢性肝炎・肝硬変・肝臓がんになる場合がある	・B型肝炎ワクチンは、持続肝炎を防ぎ、将来の慢性肝炎・肝硬変・肝がんの発生を防ぐことが目的 ・接種者の70～90%は抗体を獲得し、効果は数年～10年持続	・倦怠感や局所の痛みがあるが、一般的には重大なものは認められていない
おたふくかぜ	・ムンプスウイルスの飛沫感染後、主な症状として耳下腺の腫脹(はれ)がみられる ・合併症として、無菌性髄膜炎、脳炎などで、成人男性では睾丸炎になることもある ・最近は特に難聴合併への注意がうながされている	・ワクチンの効果は約80%で、ワクチンを受けたのにもかかわらず発症した人のほとんどは軽症	・耳下腺の軽度腫脹(はれ)が約1% ・無菌性髄膜炎の副反応報告頻度は、接種2,000～3,000人に1例程度

◎健康被害時の対応

任意の予防接種によって健康被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済の対象となります。

平成28年度 乳幼児健診・相談日程と対象者

次の日程で実施します。節目の月齢で赤ちゃんの発育・発達を確認しましょう。対象者には個別案内いたします。

場所:保健福祉総合センター かみん

	H28.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29. 1月	2月	3月
4・5か月児 健康診査	27日 H27.11～12月生	/	22日 H28. 1～2月生	/	24日 H28. 3～4月生	/	26日 H28. 5～6月生	/	21日 H28. 7～8月	/	22日 H28. 9～10月生	/
7か月児 乳児相談	27日 H27. 9月生	25日 H27. 10月生	22日 H27. 11月生	27日 H27. 12月生	24日 H28. 1月生	28日 H28. 2月生	26日 H28. 3月生	30日 H28. 4月生	21日 H28. 5月生	25日 H28. 6月生	22日 H28. 7月生	22日 H28. 8月生
10か月児 乳児相談	27日 H27. 6月生	25日 H27. 7月生	22日 H27. 8月生	27日 H27. 9月生	24日 H27. 10月生	28日 H27. 11月生	26日 H27. 12月生	30日 H28. 1月生	21日 H28. 2月生	25日 H28. 3月生	22日 H28. 4月生	22日 H28. 5月生
1歳6か月児 健康診査	/	25日 H26. 10～11月生	/	27日 H26. 12～27. 1月生	/	28日 H27. 2～3月生	/	30日 H27. 4～5月	/	25日 H27. 6～7月生	/	22日 H27. 8～9月生
3歳児 健康診査	6日 H25. 2～3月生	/	1日 H25. 4～5月生	/	3日 H25. 6～7月生	/	5日 H25. 8～9月生	/	7日 H25. 10～11月生	/	1日 H25. 12～26. 1月生	/

股関節 脱臼検診	◆生後3～4か月の間に受診しましょう◆ ・整形外科で受診してください。 ・母子健康手帳を持参してください。	富良野圏域の整形外科 ◎上富良野町 … 小野沢整形外科 3か月～(39-4177) ◎富良野市 … 富良野協会病院 4か月～(23-2181) ふらの西病院 3か月～(23-6600) かわむら整形外科 3か月～(22-4341)
-------------	---	---

口腔検診(フッ素塗布) 対象:1歳6か月～ 町内の歯科医院で実施 詳しくは個別案内いたします。
--

保健福祉総合センター かみん
上富良野町保健福祉課健康推進班(45-6987)